

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム やすらぎ荘

目標達成計画

作成日：令和 2 年 10 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体の拘束だけにとらわれず、もっと広い範囲での禁止対象となる事(スピーチロックなど)の理解を深めてはいかがでしょうか？	身体的拘束だけでなく、広い範囲での抑制について学びより良いケアの充実を図る。	職員会議の中で身体的拘束だけでなく、広い範囲での抑制(スピーチロック等)について話し合い知識を深め、日ごろのケアに反映しサービスの充実を図る。	12ヶ月
2	6	家族などから意見や要望を聞くのではなく、まずは、現状報告をし、促すような提案をしてからキャッチボールのやり取りで、気心暖まる関係性を尋ねる事からしてはいかがでしょうか。	現在行っている近況報告から話題を広げ、ご家族へ様々な提案を投げかけ、家族の思いや希望をくみとる。	面会時だけでなく時には、電話でも様子を伝えコミュニケーションの充実を図る。その中で、ご利用者の満足度をより充実できる提案を行う。内容について職員会議で話し合い情報の共有を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。